

さかいまち 議会だより

No. 212

令和7年
5月1日発行



2月20日 町村議会議員自治研究会



3月10日 防犯ドローン説明会



3月17日 ホノルル市姉妹校アリアマヌ中学校生徒13名来町

目次

- ◆第1回定例会議決事項 P.2～P.4
- ◆一般質問 P.4～P.8
- ◆第1回臨時会議決事項・議会活動 P.8

令和7年第1回定例会

3月4日～3月7日（4日間の会期）

全議案・原案可決

開会初日(3月4日)本会議に提案された令和7年度境町一般会計及び5件の特別会計並びに企業会計は、予算特別委員会を設置し、同委員会に付託されました。

委員会は、3月6日に開催され、慎重に審議した結果、一般会計及び特別会計並びに企業会計につきましては、全会一致で可決すべきものと決定し、3月7日の本会議において委員長報告のとり全会一致をもって可決され、新年度予算が成立しました。



予算特別委員会
鈴木 英明 委員長

令和7年度 会計別予算額

区 分		令和7年度	令和6年度	対前年度増減率
境町一般会計		159億2,600万円	147億8,700万円	7.7%
特別会計	坂東市外2か町公平委員会	70万円	70万円	—
	境町住宅事業	5億8,040万円	5億5,370万円	4.8%
	境町国民健康保険事業	28億4,100万円	28億6,300万円	△0.8%
	境町後期高齢者医療事業	6億2,830万円	6億3,760万円	△1.5%
	境町介護保険事業	19億8,150万円	19億3,830万円	2.2%
合 計		219億5,790万円	207億8,030万円	5.7%

令和7年度 水道事業会計予算額

区 分	令和7年度	令和6年度	対前年度増減率
収益的収入	6億2,937万円	6億3,007万円	△0.1%
収益的支出	6億3,619万円	6億2,525万円	1.7%
資本的収入	400万円	400万円	—
資本的支出	2億9,419万円	2億3,590万円	24.7%

（資本的収支の不足分については、過年度損益勘定留保資金等で補てんする。）

令和7年度 下水道事業会計予算額

区 分		令和7年度	令和6年度	対前年度増減率
収益的収入	公共下水道事業	6億8,018万円	6億7,913万円	0.2%
	農業集落排水事業	2億7,064万円	2億7,611万円	△2.0%
収益的支出	公共下水道事業	6億8,018万円	6億7,913万円	0.2%
	農業集落排水事業	2億7,064万円	2億7,610万円	△2.0%
資本的収入	公共下水道事業	2億4,517万円	1億4,509万円	69.0%
	農業集落排水事業	7,698万円	4,001万円	92.4%
資本的支出	公共下水道事業	3億2,406万円	3億2,576万円	△0.5%
	農業集落排水事業	9,520万円	9,823万円	△3.1%

（資本的収支の不足分については、過年度損益勘定留保資金等で補てんする。）

補正予算関係

令和6年度境町各種会計補正予算

会 計		予算現額	補正額	補正後の金額
一般会計(承認第 1 号)		212億5,507万円	15億円	227億5,507万円
一般会計(承認第 4 号)		227億5,507万円	5億9,920万円	233億5,427万円
一般会計(承認第 5 号)		233億5,427万円	8,035万円	234億3,462万円
一般会計(議案第19号)		234億3,462万円	2億4,382万円	236億7,844万円
特別会計	住 宅 事 業（議案第20号）	9億1,210万円	37万円	9億1,247万円
	国民健康保険事業（議案第21号）	28億8,232万円	353万円	28億8,585万円
	後期高齢者医療事業(議案第22号)	6億3,696万円	20万円	6億3,716万円
	介 護 保 険 事 業（議案第23号）	21億2,023万円	△298万円	21億1,725万円

企業会計	下水道事業（議案第24号）		予算現額	補正額	補正後の金額
	収益的収入	公共下水道事業	6億7,913万円	75万円	6億7,988万円
		農業集落排水事業	2億7,611万円	430万円	2億8,041万円
	収益的支出	公共下水道事業	6億7,913万円	75万円	6億7,988万円
		農業集落排水事業	2億7,610万円	430万円	2億8,040万円
	資本的収入	公共下水道事業	1億4,509万円	13万円	1億4,522万円
	資本的支出	公共下水道事業	3億2,576万円	13万円	3億2,589万円

各議案等審議結果

議案番号	議案名	議決年月日 議決結果
承認第2号	専決処分の承認を求めることについて (工事変更請負契約の締結について)	R 7 . 3 . 4 即日原案承認
承認第3号	専決処分の承認を求めることについて (工事変更請負契約の締結について)	R 7 . 3 . 4 即日原案承認
承認第6号	専決処分の承認を求めることについて (財産の取得について)	R 7 . 3 . 4 即日原案承認
議案第1号	刑法等の一部を改正する法律の施行に伴う関係条例の整理に関する条例の制定について	R 7 . 3 . 7 原案可決
議案第2号	境の魅力ある食開発拠点施設の設置及び管理に関する条例の制定について	R 7 . 3 . 7 原案可決
議案第3号	境町アグリビジネスラボ拠点施設「S-Lab5th」の設置及び管理に関する条例の制定について	R 7 . 3 . 7 原案可決
議案第4号	境町魅力向上・発信拠点施設の設置及び管理に関する条例の制定について	R 7 . 3 . 7 原案可決
議案第5号	境町職員の勤務時間、休暇等に関する条例等の一部を改正する条例案について	R 7 . 3 . 7 原案可決
議案第6号	境町職員の給与に関する条例等の一部を改正する条例案について	R 7 . 3 . 7 原案可決
議案第7号	境町手数料徴収条例の一部改正する条例案について	R 7 . 3 . 7 原案可決
議案第8号	境町医療費助成に関する条例の一部改正する条例案について	R 7 . 3 . 7 原案可決
議案第9号	境町家庭的保育事業等の設備及び運営に関する基準を定める条例の一部改正する条例案について	R 7 . 3 . 7 原案可決
議案第10号	境町地域包括支援センターの職員等に係る基準を定める条例及び境町指定介護予防支援等の事業の人員及び運営並びに指定介護予防支援等に係る介護予防のための効果的な支援の方法に関する基準を定める条例の一部改正する条例案について	R 7 . 3 . 7 原案可決
議案第11号	境町非常勤消防団員に係る退職報償金の支給に関する条例の一部を改正する条例案について	R 7 . 3 . 7 原案可決
議案第12号	さかい子育て支援センターの指定管理者の指定について	R 7 . 3 . 7 原案可決

議案 第13号	河岸の駅さかいの指定管理者の指定について	R 7 .3 .7 原 案 可 決
議案 第14号	境町地場産品研究開発施設「S-Lab」の指定管理者の指定について	R 7 .3 .7 原 案 可 決
議案 第15号	境町肅餐寶美術館「S-Gallery」の指定管理者の指定について	R 7 .3 .7 原 案 可 決
議案 第16号	境の魅力ある食開発拠点施設の指定管理者の指定について	R 7 .3 .7 原 案 可 決
議案 第17号	境町アグリビジネスラボ拠点施設「S-Lab5th」の指定管理者の指定について	R 7 .3 .7 原 案 可 決
議案 第18号	境町魅力向上・発信拠点施設の指定管理者の指定について	R 7 .3 .7 原 案 可 決
議案 第33号	財産の取得について (教師用教科書・指導書)	R 7 .3 .4 即日原案可決
議案 第34号	工事変更請負契約の締結について (R6 (R5繰越) 国補都構第05-01-154-G-003号河川改修工事 (その1))	R 7 .3 .4 即日原案可決
議案 第35号	町道路線の認定について (町道1824号線 境町字藤浪2235番地先)	R 7 .3 .7 原 案 可 決
発議 第1号	境町議会予算特別委員会の設置について	R 7 .3 .4 即日原案可決

人事案件

○境町固定資産評価審査委員会の委員の選任について同意を求められ、全会一致で即日同意されました。



境町大字志鳥
金久保悦雄氏

○境町農業委員会の委員の任命につき議会の同意を求められ、次の11名の方が全会一致で即日同意されました。



境町大字下砂井
石川利行氏



境町大字西泉田
菊地功氏



境町
野村等氏



境町大字伏木
海老原信之氏



境町大字大步
石山和幸氏



境町大字一ノ谷
斉藤宏一氏



境町大字志鳥
金久保徳一氏



境町大字塚崎
篠塚松男氏



境町大字大步
生井浩氏



境町大字若林
染谷健一氏



境町大字百戸
長野元明氏

○人権擁護委員の推薦について議会の意見を求められ、次の3名の方が全会一致で適任と認められました。



境町大字長井戸
芝田和則氏



境町大字伏木
染谷富士男氏



境町
山崎かおる氏

一般質問

1 議席2番 染谷 直人 議員

- (1)防犯対策について
- (2)下水道管の点検について
- (3)FIT終了後の売電価格の低下について
- (4)ウナギ工場等、境町にできた新しい施設について
- (5)STEM教育について

2 議席5番 岩崎 博 議員

- (1)アルゼンチン派遣事業について
- (2)長田小の放課後児童クラブについて
- (3)託児所の設置について

3 議席6番 青木 輝明 議員

- (1)物価高騰対策について

4 議席10番 田山 文雄 議員

- (1)下水道管の老朽化対策について
- (2)防犯対策について
- (3)行政窓口サービスについて

5 議席3番 枝 史子 議員

- (1)ワールドスケートゲームズ及びワールドカップについて

5人の議員が登壇しました

議席2番

染谷 直人 議員



防犯対策について

Q 闇バイトによる強盗や特殊詐欺等が全国でも多く発生しており、多くの町民が心配していると思いますが、さらなる対策が何かできないか、当町の考えを伺いたい。

A 闇バイトによる強盗や特殊詐欺が首都圏を中心に相次いでおり、今般、「境町ドローンラボ・ドローンワールド」の指定管理者である株式会社ACSLと協議の結果、深夜に赤外線カメラ搭載ドローンを飛ばすことによって、強盗や車泥棒等への未然防止対策に繋がると考えている。1機で5kmをカバー可能で、将来的には画像AIを搭載し、不審者や不審車両を自動で追跡・撮影する仕組みを研究・開発予定です。住民代表への説明会を経て、3月24日には、株式会社ACSLと協定締結を予定しており今後は、ドローンによ

る夜間の防犯パトロールを実証実験したいと考えております。また、徘徊者の早期発見への活用も検討してまいります。

(町長・副町長)

下水道管の点検について

Q 埼玉県八潮市での道路陥没に際し、下水道管の点検にドローンが活用されたと聞くと、当町にはドローンの研究施設もあることから、活用できないか、当町の考えを伺いたい。

A 埼玉県八潮市の道路陥没事故を受け、当町では2月5日・6日に下水道管約2,900mの目視点検を実施し、異常がないことを確認。3月3日から株式会社ACSLに委託し、閉鎖環境点検ドローンを活用した下水道管内部の点検を開始し、境・古河IC周辺開発地区において内部の写真撮影に成功。3月7日には直径400mm以上の下水道管65・3mの点検・検査を予定。当町の下水道管総延長171kmで、大部分は直径200mmの管であり、この管の点検に用いることができるドローンの開発を株式会社ACSLに要請。新技術が開発された際には、国土交通省等とも積極的に新技術導入

について協議し、国庫補助金事業等に結び付けてまいりたい。

(副町長)

FIT終了後の売電価格の低下について

Q さしま環境センターでは、FIT制度終了後、売電価格が半額になる売電価格を維持する仕組が出来上がったと聞くと、当町としては、どのような取組なのか、伺いたい。

物価高騰対策にその仕組を、役場をはじめとした公共施設や住民にそういった仕組が展開できないか、伺いたい。

A さしま環境管理事務組合では、FIT制度終了後も売電価格を維持するため、小売電気事業者が余剰電力を買い取り、茨城さかいソーラー株式会社が取次店として供給することで、中間コストを削減し、売電価格を確保する地域電力の仕組みを構築。令和7年度から境町役場の施設へ導入、電気料金削減効果が見込まれる電気使用量の多い公共施設から、これに切替、電気料金削減効果を検証しながら対象施設を増やしていく予定。現在、一般家庭は対象としていないが、今後、事業を拡大していく

中で、一般家庭から電力を買い取り、新たな電源とすること等も検討してまいりたい。

(町長・企画部長)

うなぎ工場等、境町にできた新しい施設について

Q 昨年度も様々な取組みをしていただきましたが、今年度も引き続き実施いただけるのか、当町の考えを伺いたい。

A 当町では、今年度も新たな施設が完成し、町民に還元する施策として、昨年7月には「S・Lab4th」で加工された鰻を特売価格で販売する工場祭を開催したり、今年1月の「二十歳のつどい」では、1月15日オープン「廻転銀座」から境町店」で使用できる2,000円クーポン券を対象者全員に配布したりする等の施策を行い、大変好評を博したところ。今後も、高齢者や地元住民に新しい施設を知ってもらふ施策を議会と相談しながら検討してまいりたい。

(町長・企画部長)

STEM教育について

Q 子どものうちからロボットやITに触れて「自分で学ぶ力」を

養うという「STEM教育」を実施できないか、当町の考えを伺いたい。

A 当町では、小学校で算数や理科の授業の中で、学習指導要領に示されているプログラミング学習に取り組み、中学校では技術家庭科でプログラミング教材を活用し、ネットワークを利用したコンテンツ作成や情報リテラシーの学習を実施。さらに、今年度、小中学校で活用できるように、科学的思考・デジタルスキル・創造力等の基礎を学ぶのに最適なツールとして注目されている「レーザー加工機」2台を購入。今後、株式会社ACSL社が日常的に研究開発を行う拠点施設の見学、自動運転バスの試乗や管理センターの見学等、町内にある先進技術を備えた施設において、様々な体験活動ができるよう検討してまいりたい。

(教育長)

議席5番

岩崎 博 議員



アルゼンチン派遣事業について

Q 令和7年度子どもたちのアルゼンチン派遣について伺いたい。

A 今年度は5年振りとなる派遣事業を再開し、2月3日から9日までの期間で、長田小学校の児童8名を派遣しました。

令和7年度の派遣事業につきましては、子どもたちにとって、大変貴重な経験や体験をできる事業と考えていますので、コロナ禍以前と同じく、長田小学校を中心とした町内のすべての小学校から参加希望者を募り実施できるよう、アルゼンチン共和国大使館等と協議、調整を図りながら、子どもたちの国際感覚を高められる環境づくりに努めてまいりたいと考えております。

(町長・教育長)

長田小の放課後児童クラブについて

Q 待機児童がいると聞くが当町の対応について伺いたい。

A 長田小児童クラブでは、令和7年4月に利用希望者が135名おり、現在定員122名では13名の待機児童が発生する状況となっています。町の対応といたしまし

ては、待機児童の解消と、今後の利用希望者に対応する必要があることから、隣接地に新たに定員65名規模の児童クラブを新設するため、令和7年度予算にこの施設整備に関する予算を計上させていただきました。この整備完了については、7月中旬頃を予定しています。今後も長田小児童クラブに限らず、利用を希望する全ての児童が利用できるような施設整備を進めるとともに、適切なクラブ運営に努めたいと考えています。

(町民生活部長)

託児所の設置について

Q 若い世代の就業支援で託児所が必要となると思うが当町に対策について伺いたい。

A 昨年12月から本年1月にかけ、アーバンスポーツパークのクラブハウスにて、試験的に実施した託児所の運営事業者からも、町で託児所の運営を行いたいとお話をいただいているところです。町の対応についてですが、若い世代の就業支援の一つとして、お子さまをお預かりする保育所や託児所の整備は重要な施策と捉えています。境・古河IC周辺の企業の操業開始に伴い進出企業から託児

所等の要望をいただいておりますので、議会の皆様と相談しながら託児所の設置に向け検討してまいりたいと考えております。

(町民生活部長)

議席6番

青木 輝明 議員



物価高騰対策について

Q コロナ禍に実施した境町出身の学生に向けた食糧支援について、足下の情勢を踏まえ、物価高騰対策として実施できないか、町の考えを伺いたい。

A コロナ禍に実施した食糧支援につきましては、当時、支援対象とした18歳から25歳までの若者の住民登録者数は、2,027名であり、内300名、住民登録者の14・8%の皆様から、申請をいただきました。

2月末日現在の同条件の対象者の住民登録者数は、2,004名でございますので、事業を実施し

た場合には、同様に300名程度の申請があるものと考えております。

今般の物価高騰が継続している状況を踏まえて、町といたしましては、境町出身の若者を支援するため、効果的な施策等につきましまして、議会の皆様と相談しながら、実施してまいりたいと考えております。
(総務部長)

議席10番

田山 文雄 議員



下水道管の老朽化対策について

Q 下水道管の老朽化が原因での道路陥没事故などが問題となっているが、当町における現状と今後の対策について。

A 現状については、先ほど述べられているので、質問の中で地盤強化についての話をいただきましたので、費用や、やり方など先進事例を参考にして検討し、発見した場合の予防についても検討してまい

ります。

アクアステーションについては、県の方で調査し、大丈夫と報告を受けております。
(町長)

防犯対策について

Q 当町における防犯カメラの増設などの取組で犯罪の認知件数は減少傾向にあると思うが、更に防犯対策強化に向けての当町の取組について伺いたい。

A 町では、様々な防犯活動をしていて、防犯率も減少傾向にある。防犯グッズの購入についての助成についても、他の事例を参考するとともに議会とも相談しながら進めていきたい。
(町長)

行政窓口サービスについて

Q 遺族の手続きの負担軽減などを目的にお悔やみ窓口の設置や様々な手続きをハンドブックで配布したりする自治体もあるが当町の取組について伺いたい。

A デジタル庁が主体となつて、自治体システムの標準化が進められており、窓口設置については、今後標準化の移行を踏まえ検討していきたい。お悔やみハンドブックについては、早急に作成してま

います。

(町長・町民生活部長)

議席3番

枝 史子 議員



ワールドスケートゲームズ及びワールドカップについて

Q 大会の概要及びどの程度の大会規模を見込んでいるのか。

A 町では、2月13日に「スポーツを核としたまちづくり」の一環として、ローラースポーツの国際統括団体である「ワールドスケート」と、今年から開催される世界大会につきまして、町を拠点開催地とする覚書を締結いたしました。概要としては、今年から2029年までの5年間、ローラーフリースタイルと、スクーターの2競技を実施する世界大会である「ワールドカップ」を、境町アーバンスポーツパークで開催いたします。さらに、2030年には、複数の競技種目を実施する最高峰のロー

ラースポーツ祭典「ワールドスケートゲームズ」を、茨城県内自治体を中心に開催する予定です。

規模としては、今年10月に開催予定のワールドカップでは、2競技で600人の選手・スタッフの参加が見込まれております。また、2030年のワールドスケートゲームズでは、昨年のイタリア大会を例に挙げますと、世界各国から1万2千人の選手・スタッフ等2万人もの観客が訪れ、300億円を超える経済効果があったとこのことです。

Q 大会運営組織には、どのような企業・団体が参加する見込みか。

A 大会主催者であるワールドスケートの他、境町アーバンスポーツパーク指定管理者であるABCプランニング株式会社などが主体となつて組織が作られるものと存じますが、後援や協賛などの形で町内企業や各種団体などにご協力をお願いすることも検討してまいりたいと考えております。

Q 開催にあたってかかる費用の見積り及びその負担割合はどのようなになるのか。

A 現在交渉しており、その他、国の補助金やスポンサー、協賛の獲得、またチケット収入等で、極力町の負担がないよう検討してま



Q ワールドスケートゲームズが当町にもたらす変化と将来像について、どのようなものを描いているのか。町の見解を問う。

A 町にとって、アーバンスポーツパーク整備当初からの目標であった世界大会の開催は、大変重要な意義を持つイベントであり、地方創生に大きく寄与するものと考えております。

また、各種世界大会誘致により「スポーツ移住」が定着してきたところでありますので、この流れをさらに加速することを期待するとともに、次世代の選手育成にもつなげ、未来のオリンピック選手が境町から誕生する土壌を築いていきたいと考えております。

(町長・企画部長)

令和7年第1回臨時会

3月28日（1日間の会期）

補正予算関係

会 計	予算現額	補正額	補正後の金額
一般会計(承認第7号)	236億7,844万円	7,600万円	237億5,444万円
一般会計(議案第37号)	237億5,444万円	32億1,075万円	269億6,519万円

各議案等審議結果

議案番号	議案名	議 決 年 月 日 議 決 結 果
承認 第8号	専決処分の承認を求めることについて (和解及び損害賠償の額の決定について)	R 7 . 3 . 2 8 即日原案承認
議案 第36号	境町まち・ひと・しごと創生基金条例の一部を改正する条例案について	R 7 . 3 . 2 8 即日原案可決



2月5日、全国町村議会議員会議第76回定期総会が開催され、自治功労者式が行われました。

境町議会からは、渡邊昇議員が町村議会議員として15年以上在職し功労者のあった者として、全国町村議会議長会より表彰状が贈られました。

第1回境町議会定例会にて、表彰状の伝達が行われました。

全国町村議会議長会表彰

議会活動

編集発行：茨城県境町議会広報編集委員会

委員長 染谷 直人 委員 飯田 進 委員 岩崎 博

〒306-0495 境町391-1 TEL.0280-81-1316 FAX.0280-87-5873 <http://www.town.ibaraki-sakai.lg.jp>